

# 宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.1 平成30年6月5日発行  
発行責任者:古川 正史

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館  
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484  
web: http://www.soya-teachers.org Mail: info@soya-teachers.org

メールは  
こちら



## 宗谷に学びの春！ フェスタに九〇名集う

5月12日、第26回宗谷学び愛フェスタ 2018 が行われました。今年は土曜授業や教職員健康診断が入るなど、残念ながら参加できなかった方も多くいましたが、90名以上が集い、学びを深めました。春の学びを振り返りましょう。

### 子どもを中心に

#### 据えた授業づくり

全体講演でお話しいただいたのは、札幌市羊ヶ丘小学校の太田一徹先生。小学校教員として働かれながら、大学で教員を目指す方にご教授されています。お忙しい中稚内に来ていただき、参加者が子どもに戻ったような、そんな温かい講演でした。

#### 自分が子どものころ、

#### こんな先生がいた！

全体講演は「子どもが笑顔になる授業づくり」と子ども理解「というテーマでの講演でした。太田先生は、いつも子どもを中心に据えて、学級づくり・授業づくりにも励まれています。「子どもが楽しいと思うには、まずは教師が楽しまないこと！」という言葉が印象的でした。

いつも授業でやっているというなぞなぞやらぼうたなど、どんどん太田先生の世界に引き込まれていきました。皿回しは第二部が終わった後

も大学の三階のスペースで参加者が貸し借りし合うなど、大人気でした。みんな童心に帰り、楽しんでいる様子が感じられました。「あれ、自分が子どものころ、こんな先生がいたな……。一緒にいると楽しくて、こんな先生になりたくて教師を目指したんだっけな……。そんな風に昔を思い起こしたのは私だけではなかったのではなかろうか。感想を紹介します。

太田先生の一つのものから関連したものを子どもたちと考える授業（例えば「ふるしき」から「むすぶ（命の大切さ）」を実際に受けてみたいなど）と思いました。また、太田先生の実践（導入であったり、生徒指導など）を少しでも取り入れていきたいと思いました。自分は免外で技術を担当しているのですが、自分の授業内容に納得がいていません。今日の太田先生の講演を聞いて、自分自身が技術の授業内容を興味を持ってやれていなかったんだなと思いました。

今後、「子どもたちにこの内容を教えたい」という気持ちを持って授業していきたいと思いました。

目の前の子どもたちがイメージでき温かいお話を聞くことができ、とても楽しかったです。子どもと一緒に教材研究”の言葉に、太田先生が教師として絶えず学び続けられ、これまでの素晴らしい実践をつくってこられたのだなあ、と勉強になりました。春、この時期だからこそ”本当に大切にしたいこと””教育って何

のためにあるのだろうか？”とゆっくり考える時間を持てて良かったです。貴重な学びの場をつくっていただき、ありがとうございます。

忙しい毎日が続きますが、「来てよかった」「明日からまた頑張れる気持ち」ができた……。そんな感想がたくさんありました。春の学びを大切に、これからも教職員同士で学び合ってください。

### 分科会の様子…

#### ①外国語の授業づくり

高橋先生の「子どもたちが楽しく学べる工夫」がたくさんあった授業のお話をお聞きすることで、「外国語をどう教えよう」という不安がうすれました。小学校のうちには楽しくリズムにのって活動しながら親しむことが大切であること、小中の連携が大切であることを感じました。高橋先生が「小学校の先生の大変さ、本当によくわかります。だから外国語をあまり負担にならないよう小中の先生が連携して取り組めたら良い」と話してくださったことで肩の荷がおりました。お忙しい中ありがとうございました。

#### ②道徳の授業づくり

道徳の評価について、他の学校の先生方がどのように取り組んでいるのかを交流出来て、とても勉強になりました。早速実践してみたい内容も聞けたので、学校の子どもたちと考えてみたいと思います。

#### ③地域の教材づくり

参加人数は少なかったけれど、その分ざっくばらんに詳しく話を聞くことができました。地域について子どもたちに学ばせたいならば、教師も地域に積極的に出ていかないと地域の素材も人のこともわからないということを経験された先生のお話から考えました。金子先生ご自身の興味が、子どもたちとの学びにつながっている様子がいいなー！！

(次回へ続く)



# みんなで取り組む 三づくりを大切に

## 主任制度の歴史と

### 宗谷の教育関係者の考え

宗谷の教職員組合運動の歴史の中で「主任手当」が問題になったのは一九七六年のことです。現在の「学校職員人事評価制度」と同じように、「教師の教育活動の内容の在り方」と「学校経営と校務分掌のあり方」が争点になる闘いと位置付けられています。私たちの先輩が「主任」制度について深く理解する学習を怠ることなく、理解を深め合意づくりを大切にしてきたからこそ目の前の子どもたちのことをみんなでも考え話し合い進めてきた財産が今の時代に受け継がれています。

具体的には、主任手当を導入しようとする当時の文部省のねらいを「教師に対する統制の強化」「教育内容への介入」であるとし、教育関係者とともに「教育活動、学校運営、校務分掌のあり方の民主的改善」を求める運動に発展しました。

子どもを目線で考えてみましょう。担任の先生、教科の先生、

## 今年も名称変更！若者の集い改め...

### 青年部フレスンツ

## みんなの集い in 猿払浜頓別

11月10日(土)～11日(日)、猿払村と浜頓別町で集いを行います！2015年、礼文町で若者の集いが復活してから4年目になります。組合の次世代を担う青年部が企画しますが、「管内の皆さんに来ていただきたい」という思いから、名前が変更されました。

浜頓別町のコテージに泊まって交流を深めます。詳細は現地の青年部を中心に検討中ですが、まずは今から予定に入れておきましょう！

### 連続 教育 講座

## どどんぱ

5月19日(土)、枝幸町でどどんぱが開催されました。参加者は5名で、深い学びが出来ました。次回は稚内開催です！平日の夜開催ですが、町村の先生ももちろん参加可能です。奮ってご参加ください！自分が受け持っている子どもの様子から語り合ひましょう。

日時：6月29日(金) 19時～

場所：宗谷教育会館

保健室の先生、職員室の先生…みんな先生です。上も下もありません。「みんなで取り組む三づくり」というように我々の考えている学校づくりには相反するものです。宗谷では、組合加入の有無を問わず『主任手当』を個人所得にしない合意を積み重ねてきました。主任手当の意図を押さえ、次の方針を一貫して追求してきました。

### 主任手当の拠出と活用

1970年代から取り組み続けている運動に「主任手当」に関する

る取り組みがあります。「主任」制度について、宗谷教職員組合は反対の立場です。なぜ反対なのか、今回の宗谷情報で述べてきましたが、職場の全教職員で学び合い確かめ合うことを大切にしましょう。宗谷の教育関係者は、「みんな」で話し合って、よりよい学校づくりを進めよう」という「力合わせ」を大切にしてきました。手当による差別賃金と組織分断の推進という本質を確かめ合ひましょう。

「みんな」で話し合って、よりよい学校づくりを進めよう！——この言葉が「絵に描いた餅」になつていないこと、「主任」手当てに関する合意づくりは大きな関係があります。「手当」による差別賃金と組織分断の推進というこの制度の本質を見抜きバラバラ攻撃を打破することが大切です。だからこそ改めて、拠出することの意義を確かめ合い、「主任」手当を「個人所得」にしない職場の意思統一を呼びかけます。

※宗谷での組合加入の有無を問わず『主任手当』を個人所得にしない合意

- ① 学校を基礎に自主的・自覚的に手当てを拠出する体制を確立すること
- ② 教職員と父母との共同での保管体制を確立すること
- ③ 教職員と父母との共通理解にもとづく、活用体制を確立すること

## 言の葉 editorial note



宗谷情報No2発行です。遅くなり申し訳ございませんでした。専従となつて、平日の日中、外にできることが多くなりました。先日、一人で道路のゴミを拾っている方がいらっしゃいました。宗谷の方の温かさを感じました。そんな地域の方々に支え

られて宗谷の学校がある…。そんなことを感じました。「地域の方が地域のために頑張っているのだから、我々も宗谷で働く教職員として職場・保護者・地域と共に力を合わせて頑張らないとな…」と考えさせられました。(えんどー)

6月2日(土)、道教組青年部の富樫部長が宗谷に来られました。宗谷教組青年部と交流会を開き、楽しいひと時を過ごしました。富樫部長からは「とても楽しかった！宗谷の青年部の力強さを感じました」と感想を頂きました。今後も道教組に集う仲間と関わる機会があります。様々な人と会うと視野が広がります。今後はさらに交流の幅を広げたいですね！